

外務省からの命令に

「面白からず」と異を唱えた

宮崎市佐土原出身のサムライ外交官。

根井三郎

ねい さぶろう
根井 三郎
(1902~1992)

1941年ウラジオストクから日本へ一時帰国時の写真
根井三郎を顕彰する会所蔵

命のバトンリレーとは

人類史上最大の戦争となった第二次世界大戦下で、ロシア・ウラジオストクに外交官として赴任した「根井三郎」は、ナチス・ドイツの迫害を恐れ、リトアニアで杉原千畝からビザの発給を受けたユダヤ人難民などが日本に渡れるよう、外務省からの命令に異を唱えつつ抵抗した。

最近の研究では、ビザを持たないユダヤ人難民などには、独断でビザや渡航証明書を発給していたことも明らかとなった。

「根井三郎」が杉原千畝から受けた“命のビザ”は、日本国内でユダヤ人難民などへの救済を行っていた小辻節三へと繋

がれており、まさに“命のバトンリレー”が行われていた。戦後、外交官の職から離れてからも、この出来事を誰にも語らぬまま平成4年に亡くなっている。

2024 3/23 (土)

根井三郎 顕彰講演会

入場無料

宮崎市民プラザオルブライトホール 13:00~15:30

根井三郎 資料展 3/19 (火)~24 (日)

宮崎市民プラザ 4階ギャラリー 9:00~17:00(初日19日は13時開始) 入場無料

写真：外交資料館提供

写真：山田純大氏提供



すぎはら ちうね
杉原 千畝
(1900~1986)



こつじ せつぞう
小辻 節三
(1899~1973)

令和5年度 根井三郎顕彰推進事業
主催：宮崎市・根井三郎を顕彰する会
協賛：宮崎県佐土原地区安全衛生協議会
宮崎市誘致企業連絡協議会
九州中川ヒューム管工業株式会社



宮崎市佐土原出身の外交官が繋いだ 命のバトンリレー

根井 三郎 顕彰講演会

入場
無料



外務省からの命令に
「面白からず」と
異を唱えた
サムライ外交官。

ねい さぶろう
根井 三郎 (1902~1992)

宮崎県宮崎市佐土原町出身。元長崎県大村中学校卒業後、外務省留
学生採用試験に合格し外務省ロシア語留学生としてハルビンの日露
協会学校に入学(2年先輩に杉原千畝がいた)。日露協会学校修了後、
ハルビンの日本総領事館に外務省書記生として勤務、以降、外交官
として活躍。第二次世界大戦中の1940年(昭和15年)8月、ウラジオ
ストク総領事館に赴任。「杉原千畝」がリトアニアで発給したビザを
持つユダヤ人難民などが、日本に渡るためウラジオストクに集まり始
める。同12月ウラジオストク総領事代理に就任。1941年(昭和16
年)2月、外務大臣より「杉原千畝が発給したビザを持つユダヤ人難
民などを日本行きの船にのせるな、ビザを持たない者にはモスクワ
へ引き返すよう伝えよ」と暗に示した命令を受けるも、「面白からず」
と強い表現を用いつつ毅然と異を唱え、ビザを持つユダヤ人難民な
どを日本行きの船に乗せ、ビザを持たない者には独自のビザ又は、
渡航証明書を発給し、船に乗せる。戦後、名古屋入国管理事務所(現在
の管理局)所長を最後に退職。1992年(平成4年)、ウラジオストク
での人道支援の行いについて誰にも語らぬまま永眠。



ウラジオストクの港



旧日本総領事館(ウラジオストク)



シベリア鉄道(ウラジオストク駅)



天草丸(提供-人道の港教習ムゼウム)

第1部 講演 13:10~(60分)

「命のビザ~遙かなる旅路~」

根井三郎が単独で発給したビザを発見した経緯や
根井三郎の功績について

講師

ユダヤ人難民について調査研究している
フリーライター

北出 明氏

1944年、三重県上野市(現:伊賀市)に生まれる。慶應義
塾大学文学部仏文科卒業、国際観光振興会(日本政府観
光局こと、現在の国際観光振興機構、JNTO)で勤務後、
フリーライターとして活動。第2次世界大戦中、ナチスによる
迫害から逃れたユダヤ人難民の安全な亡命に尽力した日
本人について研究し、本に著している。現在も世界を渡り
精力的に活動中。著書として「命のビザ、遙かなる旅路-杉
原千畝を陰で支えた日本人たち」「続 命のビザ、遙かなる
旅路-7枚の写真とユダヤ人救出の外交官たち」。



第2部 講演 14:20~(30分)

「根井三郎にたどり着くまで」

根井三郎を顕彰する会の発足から現在に至る軌跡について

講師

「根井三郎を顕彰する会」会長

根井 翼氏

宮崎県出身。宮崎県内中学校で音楽教諭として勤務、また
宮崎県教育委員会で指導主事、指導係長を歴任し、4校で
校長を歴任後退職。現在は、宮崎市自治公民館連絡協議
会会長、宮崎市自治会連合会副会長、宮崎市芸術文化連盟
事務局長など、数多くの役を務める傍ら、平成28年より「
根井三郎を顕彰する会」の会長として、根井三郎の功績を
周知するため、調査活動や講演など精力的に活動。



第3部 トークセッション

15:00~(30分)

ゲスト

前国士舘大学21世紀アジア学部
21世紀アジア学科 教授
日本・イスラエル親善協会理事
日本ユダヤ学会所属

ジンベルグ

・ヤコブ 氏

1951年、旧ソ連に生まれる米国国籍。旧ソ連レニ
ングラード国立大学東洋学部日本学科、米プリンスト
ン大学東アジア学部大学院卒業を経て、2007年か
ら、国士舘大学 21世紀アジア学部 21世紀アジア
学科 教授就任。ロシア・ホロコースト研究・教育セン
ターのイリア・アルトマン共同議長と共に「杉原千畝」について興味を持ち研究するなかで
「根井三郎」の功績を知り、国内外の資料調査を開始、「杉原千畝」がイスラエルで贈られ
ている「ヤド・バシム賞(諸国民の中の正義の人賞)」の条件を「根井三郎」は満たしてい
るとし、同賞についてイスラエルに申請を予定している。



会場 宮崎市民プラザ オルブライトホール 〒880-0001
宮崎市橋通西1丁目1番2号



〈お問い合わせ〉根井三郎を顕彰する会事務局(佐土原総合支所内) ☎0985-73-1111